

Verat. 資料／コレラ (Cholera)

・ [コレラ菌](#) (*Vibrio cholerae*) を病原体とする経口[感染症](#)の一つ。治療しなければ患者は数時間のうちに死亡する場合もある。

・ 予防には、衛生改善と清潔な水へのアクセスが必要である

・ 全世界の患者数は毎年 300-500 万人であり、年間 28,800-130,000 人の死者を出している。先進国では稀な病気である¹。現在もリスクがある地域は、[アフリカ](#)と[東南アジア](#)である。死亡リスクはたいてい5%以下であるが、医療アクセスに乏しい地域では50%に高まる。

・ 日本では明治時代にこの感染症が知られるようになった。当初は暴卒病、暴瀉、暴瀉病と呼ばれていた。民衆の中では語感から「コロリ」と呼ばれていた。「コロリと死んでしまう」の連想から「虎狼痢」「[虎狼狸](#)」などの呼び名も広く用いられた。

・ [潜伏期間](#)は5日以内。普通は2〜3日だが、早ければ数時間である。

症状が非常に軽く、1日数回の下痢で数日で回復する場合もあるが、通常、突然腹がごろごろ鳴り、水のような下痢が1日20〜30回も起こる。

下痢便には塩分が混じる。また、「米のとぎ汁」のような白い便を排泄することもある。

腹痛・発熱はなく、むしろ[低体温](#)となり、34度台にも下がる。

急速に脱水症状が進み、血行障害、[血圧](#)低下、[頻脈](#)、[筋肉](#)の痙攣、虚脱を起こし、死亡する。

・ 極度の脱水によって[皮膚](#)は乾燥、しわが寄り「[洗濯婦の手](#)（指先のしわ）」、「[コレラ顔貌](#)」と呼ばれる特有の老人様の顔になる。また、乾燥舌（Dry Tongue）の症状もみられる。

コレラにおいて直接の死亡原因になるのは、大量の下痢と嘔吐による水と[電解質](#)の損失によっておきる[脱水症状](#)である。

このため、失われた水と電解質を補給することでコレラによる死亡はきわめて効果的に抑制できる。